

国際医療福祉大学における生成 AI の取扱い指針（学生向け）

国際医療福祉大学 学長

2022 年に OpenAI 社より発表された ChatGPT をはじめとする生成 AI については、すでに利用されている人も多くいることと思います。生成 AI は、文章のみならず、動画を含めた画像や音声・音楽、コンピュータプログラムを生成することができるものもあり、生成 AI を活用することは、利便性や生産性を向上させ、これからの時代の暮らしや社会の変容を導く可能性があります。一方で、今後、更に私たちの日常生活に入りこむ可能性があることで、その利便性とともなう危うさも広くニュースなどでも取り上げられています。

生成 AI の出力内容を常に批判的に分析し、上手に使いこなすことができれば、知的欲求や能力を高め、教育・研究活動を向上させることも可能です。そのため、生成 AI を活用するリテラシーを学生全員が身に付け、積極的かつ適切に活用できるようになることが重要だと考えます。

以下に、学修のみならず日常生活での利用に際し、留意すべき事柄を整理していますので、適切な利用に努めてください。

【留意すべき事柄】

1) 生成 AI と学修活動との関係性、成績評価

生成 AI の使用が許可されている授業については、担当教員の指示に従ってください。また、ChatGPT などの生成 AI を使ったことがある人は、レポート課題などの作成に有効と感じ、生成 AI が出力した内容をそのまま使用し提出しようという思いに駆られたことがあるかもしれません。しかし、生成 AI の出力した内容をそのまま提出した場合は、原則、その課題提出は認められず、不可（点数は 0 点）になることを認識しましょう。生成 AI の便利さに依存し過ぎると学修内容に対する理解が浅くなり、学修の質を損なう恐れがあります。生成 AI はあくまでも補助的なツールとして利用し、自分の考えや分析を中心に据えることが大切です。

2) 生成 AI の技術的限界（生成物の内容に虚偽が含まれている可能性）

「無数の情報の概要を瞬時にまとめることができる」「述べたい内容を伝えと、論理構成のポイントを示唆してくれる」といったことが可能な生成 AI を学生の皆さんが学修に主体的に活かすことは意義のあることです。しかしながら、生成 AI の出力した内容には、ハルシネーションと呼ばれる情報がしばしば含まれていたり、公平性を欠くような考えや表現が含まれていたりします。ハルシネーションとは、「事実に基づかない回答を生成する」生成 AI 特有の現象です。AI が幻覚（ハルシネーション）を見ているかのように、も

っともらしい誤った回答を生成することから、このように呼ばれています。

このため、生成 AI の出力結果を鵜呑みにして無批判的に用いること、出力された内容をそのまま使用することは避けましょう。ChatGPT などの生成 AI の利用には、正しい知識が必要であるとともに、生成 AI が出力した内容に対しては、最終的に作成者が責任を負うことをしっかりと認識してください。

3) 機密情報やプライバシーなど個人情報の流出・漏洩等の可能性とその防止策

生成 AI でデータを生成する場合、個人を特定できる情報（個人情報保護法に基づく個人情報）や研究の未発表の成果などの機密情報の入力には絶対に避けましょう。また情報漏えいの対策としてオプトアウト（学習機能の無効化）を利用してください。なぜならば、生成 AI は利用者に対するサービス向上のため、入力されたデータを使って学習しているからです。そのため、生成 AI 経由でプライバシーなどの個人情報や機密情報などが漏えいする可能性があります。このような事態を避けるために、ChatGPT を運営する OpenAI 社は学習を無効化するオプトアウト申請用フォームを用意しています。これを利用してオプトアウトを実施し、生成 AI に守るべき情報を学習させないようにしておきましょう。

Data usage for consumer services FAQ：

<https://help.openai.com/en/articles/7039943-data-usage-for-consumer-services-faq>

OpenAI Privacy Portal：

<https://privacy.openai.com/policies>

4) 知的財産権に関する留意点

生成 AI で生成されたデータには、他者が作成した文章、画像、音楽、映像などの著作物が含まれている（ネット上にある様々な著作物を用いる動作原理上、特定の著作物がそのまま出力される）場合があります、著作権上の問題も大きな議論となっています。この他にも、商標権や意匠権など、他者の知的財産権を侵害する恐れがあります。生成 AI を使用して得た情報は適切に引用し、知的財産権を尊重してください。

また、生成したデータを SNS などに公開する前に、または課題の成果物として提出する前に、それらの著作物の利用条件を Google などの検索サイトで必ず確認するようにしてください。利用条件に合致しない場合や利用条件そのものが見つからない場合は、著作物を削除し、適切に修正してください。

なお、この指針は 2025 年 3 月 17 日時点の状況をもとに作成したものです。生成 AI は今後も急速な進歩を遂げると想定されており、本指針も随時見直しを行いますので、適宜、最新の指針を確認してください。